

(様式3)

令和5年度 動物実験等に関する報告

水産資源研究所

項 目	報 告 内 容
1 動物実験等の実施状況	
(1) 実施件数	当該年度の実験件数の合計 0 件
(2) 使用動物種	当該年度の実験に使用した全動物種名
(3) 関係研究課題数	当該年度の全実験課題数 0 課題
(4) 実験課題	
2 点検・評価結果	
(1) 所内規程の制定	水産資源研究所動物実験委員会規則 改正 令和5年3月9日付け4水機資第566号 水産資源研究所動物実験に関する指針 改正 令和5年1月16日付け4水機資第489号
(2) 動物実験委員会の設置状況・構成	構成 委員長：企画調整部門長 委員：業務推進課（事務局）、水産資源研究センター長有識者として鈴木敏之（技術研環境・応用部門長）。横浜庁舎から4名、釧路拠点から2名、札幌拠点から1名、新潟拠点から1名、長崎庁舎から1名を選出。 開催実績：令和5年5月24日 令和6年3月18日（メール会議）
(3) 動物実験等の実施状況	
(4) 教育訓練等の実施	資源研で実施する哺乳類、鳥類、爬虫類の標識放獣調査に用いる動物が、実験動物に該当しないことを環境省に確認し、内容を機構内に周知した。
(5) 実験動物の飼養等	
(6) 緊急時の対応	
(7) 総合評価	水産研究・教育機構及び水産資源研究所の関連規程に適合しており、特段の問題はない。